

## 予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

### 事業名 新 飛騨牛輸出促進緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

#### 1 事業費 補正要求額 10,500 千円 (現計予算額：0 千円)

##### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,500	0	0	0	0	0	0	0	10,500
決 定 額	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9,000

#### 2 要求内容

##### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量は昨年度比べ約8割大きく減少<sup>\*</sup>している。

飛騨牛は、これまで積極的に海外展開を進めることで、高級ブランドとしての国内外での評価を高めてきた中で、輸出先国の経済回復と軌を一にして、飛騨牛輸出のV字回復を図る必要がある。

現在、アジア・オセアニアを中心に渡航再開の政府間協議が進められ、経済回復の動きが加速化していることから、コロナ社会に対応した飛騨牛の輸出支援を緊急的に実施する。

※飛騨牛輸出量：▲78% 6.938kg(R元.4) → 1,517kg(R2.4)

##### (2) 事業内容

海外においてもコロナ社会で家庭食への移行が進む中、小ロットでの差別化販売を推進するため、輸出向け飛騨牛の加工(オーダーカット)費用について、掛かり増し分を県が補助する。

[対象者] 飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者（香港、台湾への輸出は除く）

[交付額] 定額 1頭あたり 50 千円

[期間] 6ヶ月間（R2.10～R3.3）

### （3）県負担・補助率の考え方

J A 飛騨ミートが定める加工料（掛かり増し分）※を、飛騨牛を輸出する食肉販売事業者に代わり負担

※ 100 円/kg × 500kg/頭 J A 飛騨ミート聞き取り

### （4）類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,500	輸出向け処理見込 35 頭/月 × 1 頭あたり 50 千円 × 6 ヶ月間
合計	10,500	

### 決定額の考え方

R 元年度と同程度の 30 頭/月分を計上します。

財源については県有施設整備・新型コロナウイルス感染症対策基金を充当します。

## 4 参考事項

### （1）各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策（R2 年 4 月 20 日策定）  
Ⅲ 景気経済・生活雇用対策の新設・拡充  
2（2） 収束後を見据えた取組みへの支援
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31 年 3 月策定）  
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり
- ・ぎふ農業・農村基本計画（H28 年 4 月策定）  
2 売れるブランドづくり （4）県産農畜産物のグローバル展開

### （2）国・他県の状況

国は食品等輸出物流ルートを確保するため、航空事業者を対象に航空運賃（掛かり増し相当分）を支援する事業を経済対策に盛り込んでいる。

### （3）後年度の財政負担

新型コロナウイルスに係る緊急措置のため、後年度負担はなし。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	飛騨牛輸出促進緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者
補助事業の概要	（目的）新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量が大きく減少している中で、飛騨牛の輸出に取り組む食肉販売事業者へ支援を行い、飛騨牛輸出のV字回復を図る。 （内容）特定期間（6か月間）において、小ロットでの差別化販売を推進するため、輸出向け飛騨牛の加工（オーダーカット）費用について、掛かり増し分を県が補助する。
補助率等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （1頭当たり最大50千円）
補助効果	飛騨牛ブランドの維持及び輸出量のV字回復
終期の設定	終期令和2年度 （理由）新型コロナウイルス感染拡大により、飛騨牛の輸出量が低下している現状に対する緊急対策のため。

### （事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染拡大により低下した飛騨牛の輸出量をV字回復させ、飛騨牛ブランドを維持する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2年度当初)	目標 (R2末)	目標 (終期)
① 飛騨牛の輸出量 (kg)	1,517 (R2.4)		4,000 (R3.3)

	R2年度 (要求)	年度	年度	年度	年度
補助金交付実績	10,500 千円	千円	千円	千円	千円
指標①目標	4,000kg				
指標①実績	未定				
指標①達成率	未定				

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 飛騨牛の輸出量をV字回復させ、本県を代表する飛騨牛ブランドを維持していかなければならない。</li></ul>
--

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い	
(評価) ○	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、飛騨牛の輸出量が大きく減少していること中で、飛騨牛ブランドを守る輸出回復支援策は必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
---------------------